

# ヒッチハイク★リッチタイム IN 周防大島

---

ヒッチハイクから生まれる島民との交流

地方創生☆政策アイデアコンテスト2017 提案資料

山口県立周防大島高等学校 普通科特別進学コース Aチーム

瀬戸内のハワイ

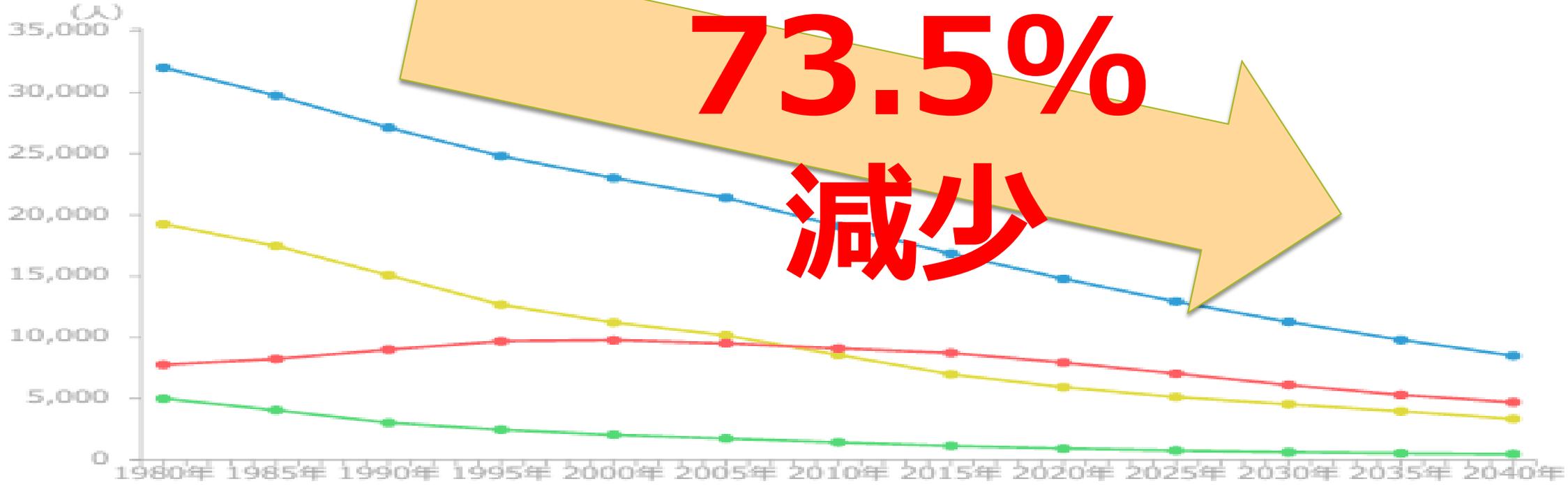
# 周防大島について



## 人口推移

山口県周防大島町

総人口 ● 年少人口 ● 生産年齢人口 ● 老年人口

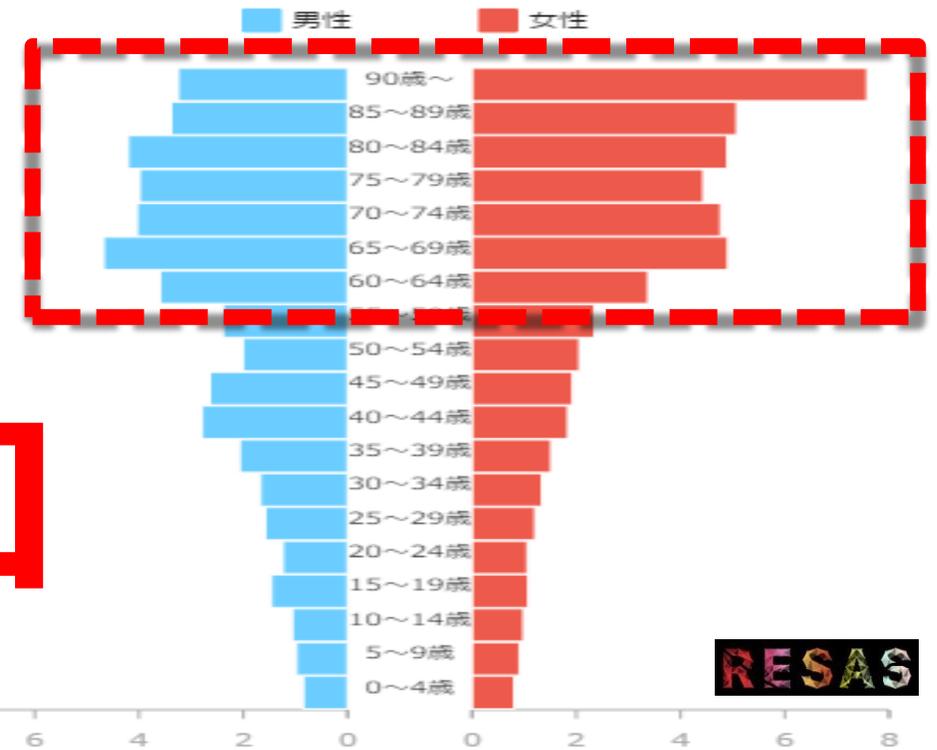
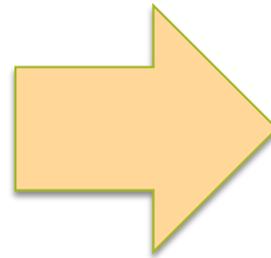
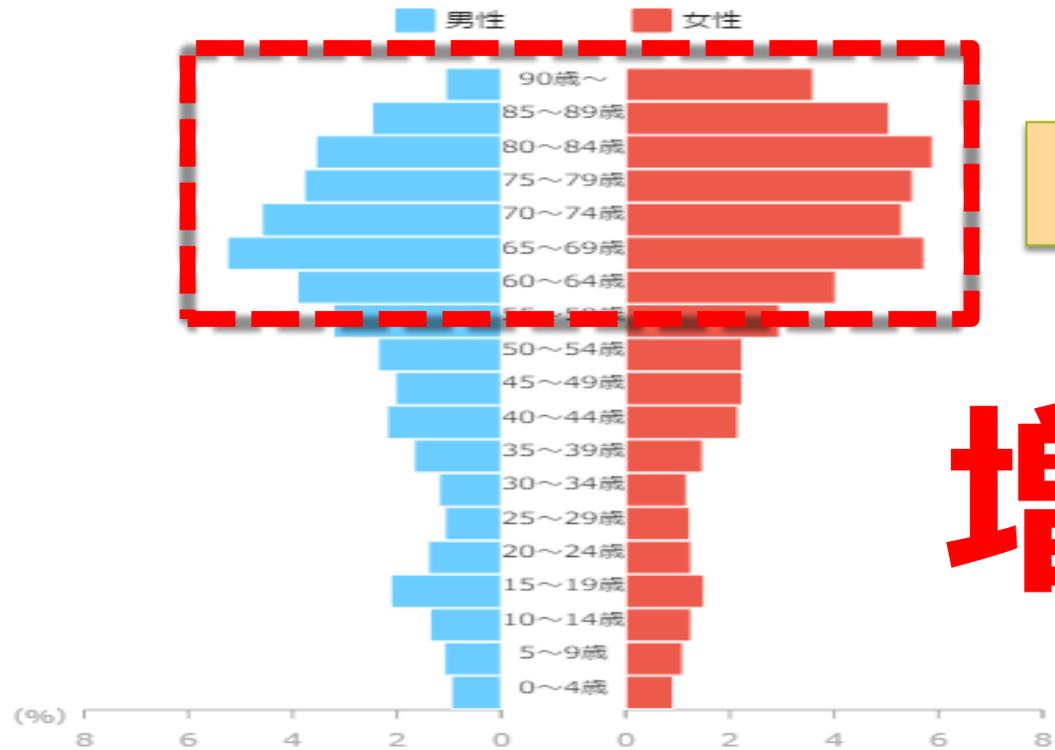


実績値 推計値

# 人口ピラミッド

2015年

2040年



増加

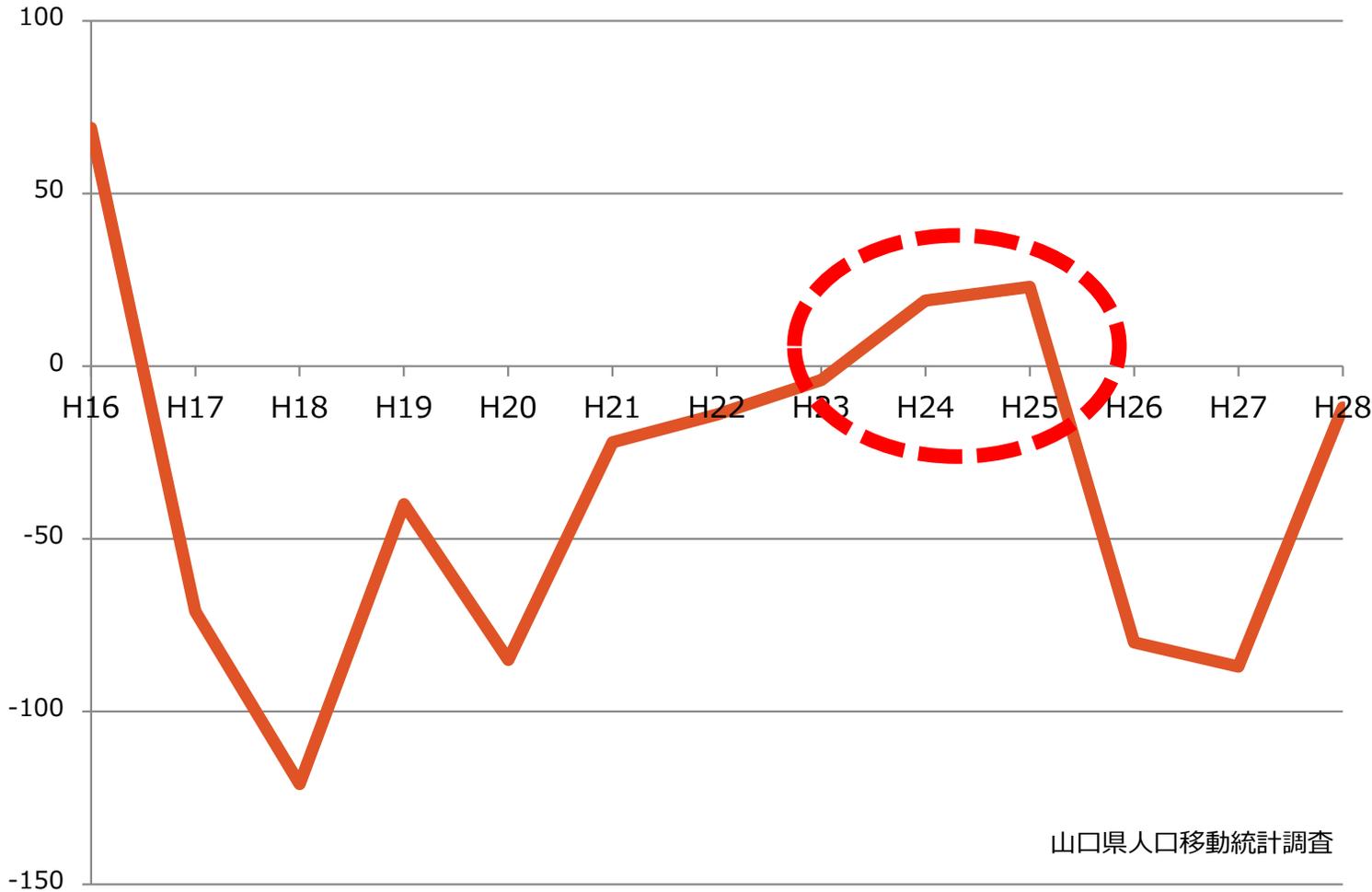
RESAS

老年人口 (65歳以上) : 8,727人 (51%)  
生産年齢人口 (15歳~64歳) : 6,984人 (41%)  
年少人口 (0歳~14歳) : 1,127人 (6%)

老年人口 (65歳以上) : 4,692人 (55%)  
生産年齢人口 (15歳~64歳) : 3,331人 (39%)  
年少人口 (0歳~14歳) : 475人 (5%)

少子高齢化が急速に進行し、島に元気がなくなっている。

# 周防大島の社会増減について



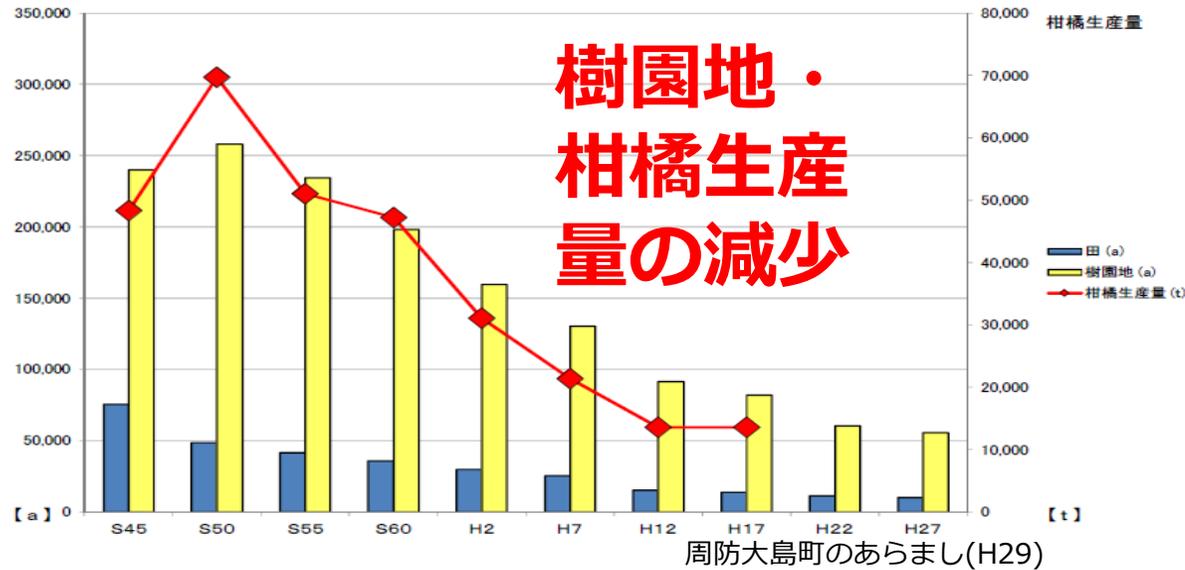
山口県人口移動統計調査



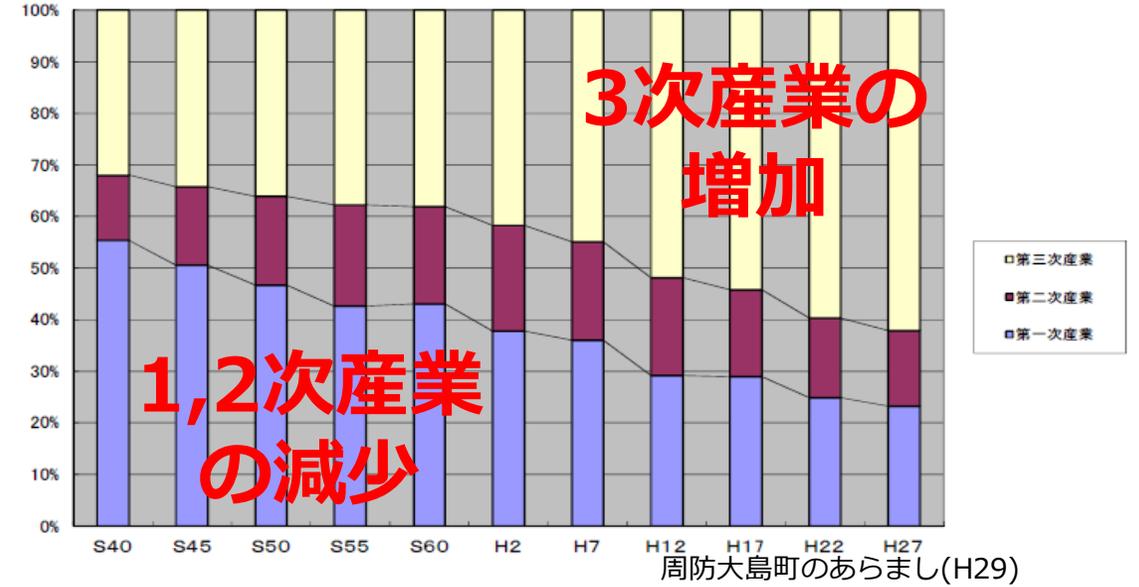
中国新聞

# 周防大島の産業について

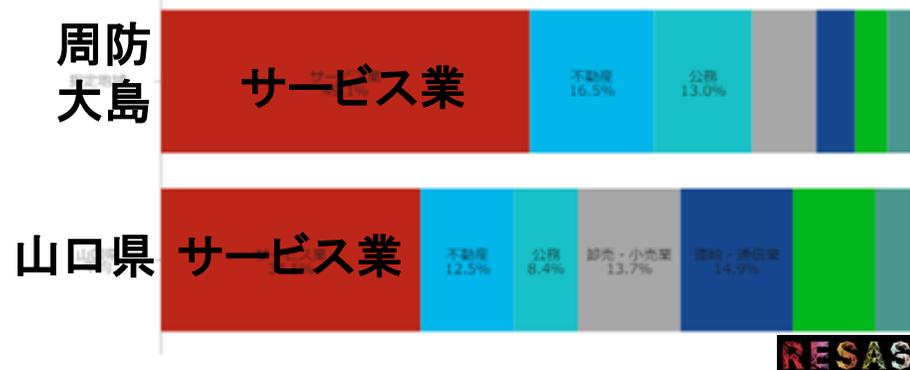
## 農業について



## 産業別人口の推移



## 3次産業の構成



周防大島の主要な産業は観光である。

# 周防大島の観光政策

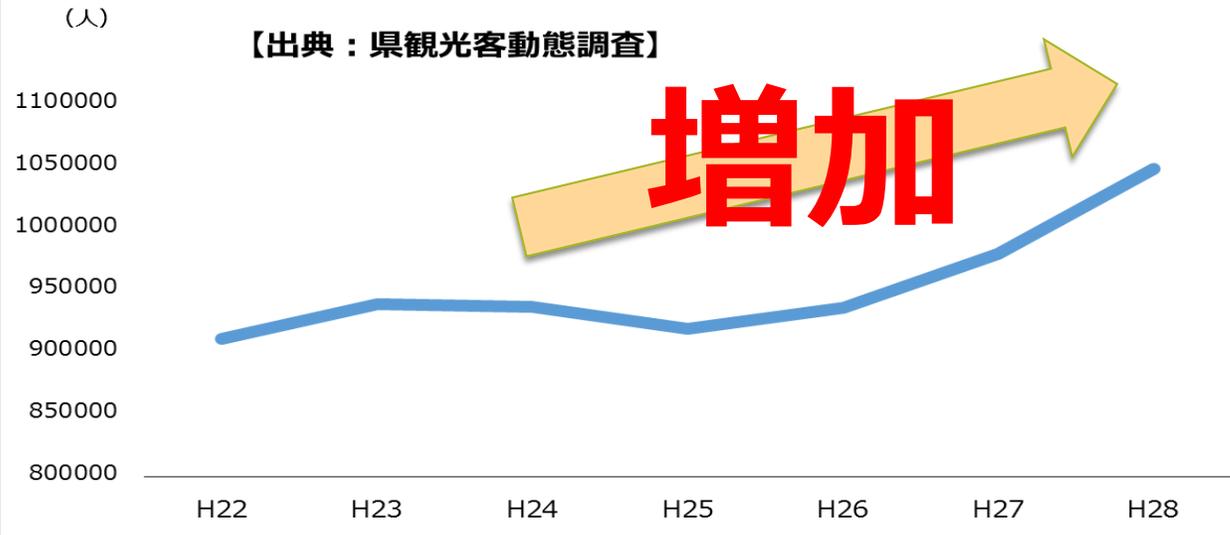
## 観光産業の育成に向けて（抜粋）

『周防大島町まち・ひと・しごと創生総合戦略』

- ・ **地域資源の活用**  
日本アワサンゴツアー
- ・ **クルーズツアーの実施**  
瀬戸内海の多島美景観を活用したツアー
- ・ **ハワイ移民の歴史の活用**  
ハワイ移民に係る資料の整理・展示
- ・ **より利便性の高い観光情報の発信**  
観光に関する情報の整理と発信
- ・ **新たな拠点と新規事業の展開**  
民泊を活用した体験型修学旅行の活性化  
漁船クルーズや海の駅の整備など

## 周防大島町の観光客数の推移

【出典：県観光客動態調査】



## 観光産業の育成に向けての数値目標（H27）

重要業績評価指標(KPI)	現状	目標値(H31年度)
①～⑦ 観光交流人口数	93万人	100万人
③ インバウンド(※)観光客数	700人	5,000人
⑥ 海の駅の設置	—	1か所

※インバウンド:訪日外国人旅行者

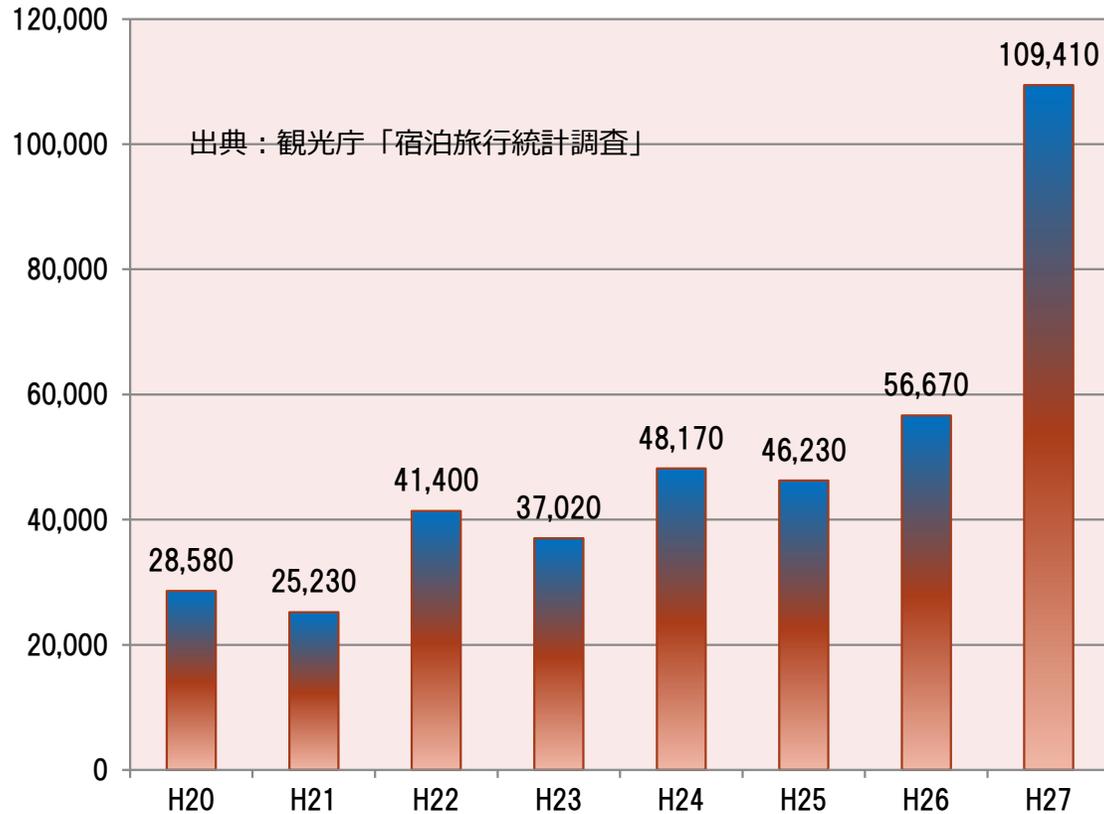
『周防大島町まち・ひと・しごと創生総合戦略』より



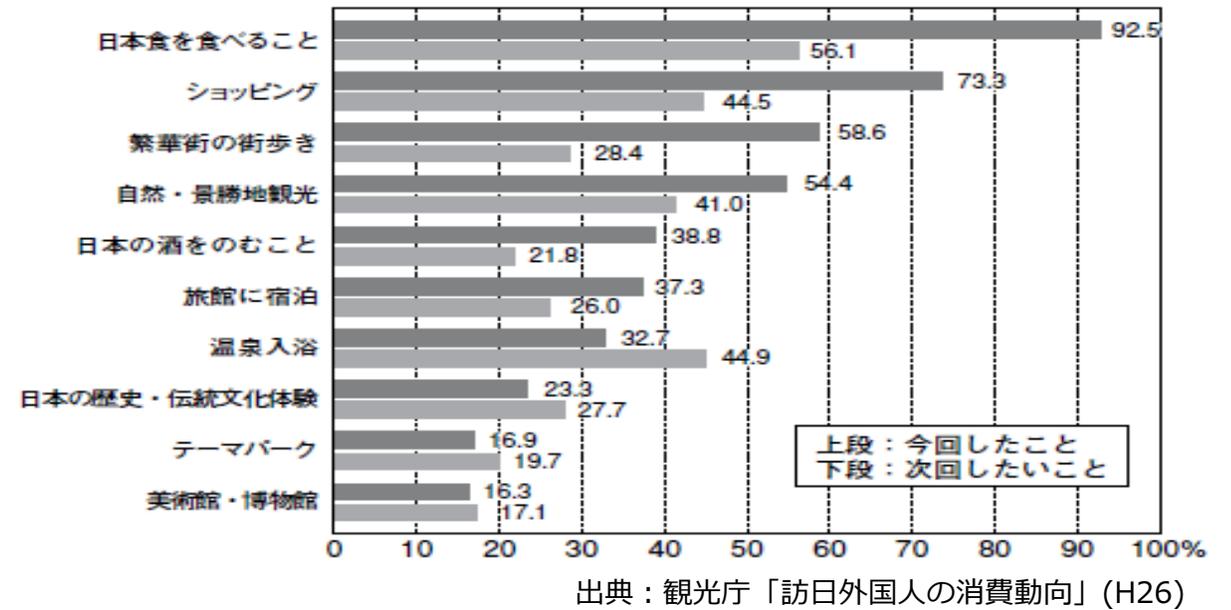
※本頁の写真は許諾のもと周防大島観光協会HP掲載のものを使用。

# 外国人観光客と周防大島

## 山口県の外国人宿泊者数の推移



## 訪日外国人旅行者が今回した活動と次回したい活動

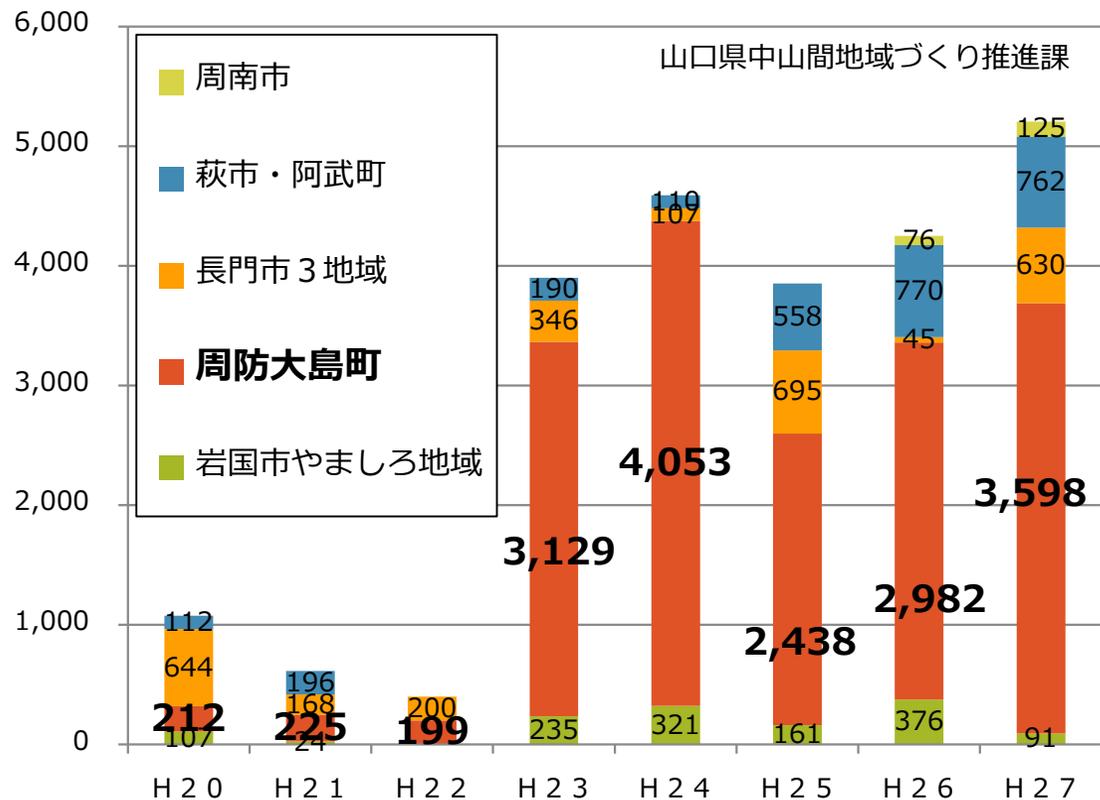


**外国人観光客は体験活動を好んでいる！**

**豊かな資源と様々な体験活動が行える  
周防大島は外国人にもぴったり。**

# 民泊を活用した体験型修学旅行

## 県内の体験型修学旅行受入状況



## 周防大島町の体験型修学旅行受入状況

区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
受入人数	3,129	4,053	2,438	2,982	3,598	3,685	4,307
受入校数	20	24	20	22	26	26	30

山口県中山間地域づくり推進課

○農山漁村地域における体験交流活動が、子どもたちの「生きる力」を育む上で極めて有効であることが認知される。

**体験型修学旅行に周防大島町が選ばれている。**

# 地元住民と観光客との交流

旅先で立ち寄った飲食店や観光施設などの店員や地元の客たちと触れ合うのは好きですか？

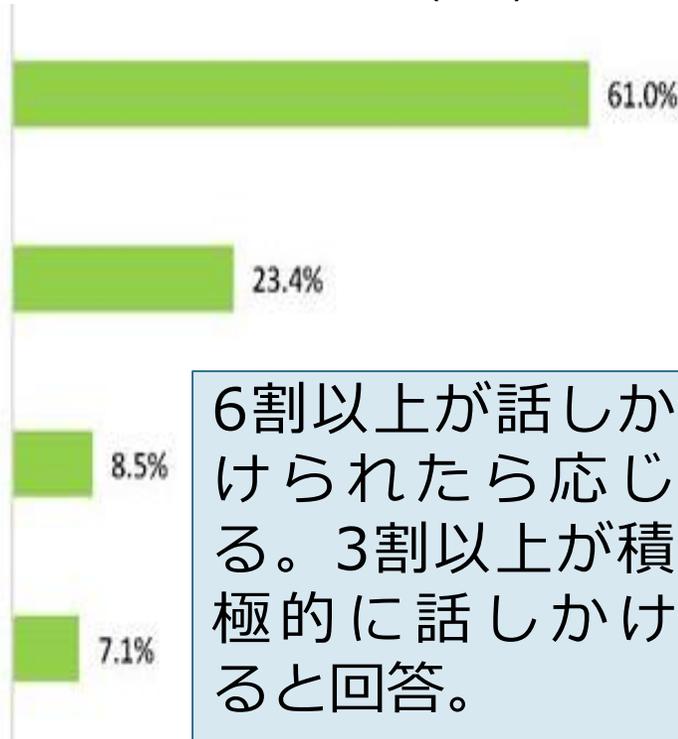
日本RV協会(2017)

旅先で、相手から話しかけられたときは応じるが、こちらから積極的に話しかけたりすることはない。

地元の人々と語り合うことは大好きなので、土産物を買うときや食事をするときには積極的に声をかけ、会話を楽しんでいる。

地元の人々とのさらに深い交流を楽しみたいときは、夜には居酒屋・食堂などに繰り出し、夕食を楽しみながら店員や地元客と会話を交わすようにしている。

家族（もしくは自分1人だけの）との時間が大切だと思っているので、基本的に旅先では、地元の人たちと必要以上のコミュニケーションをとらない。

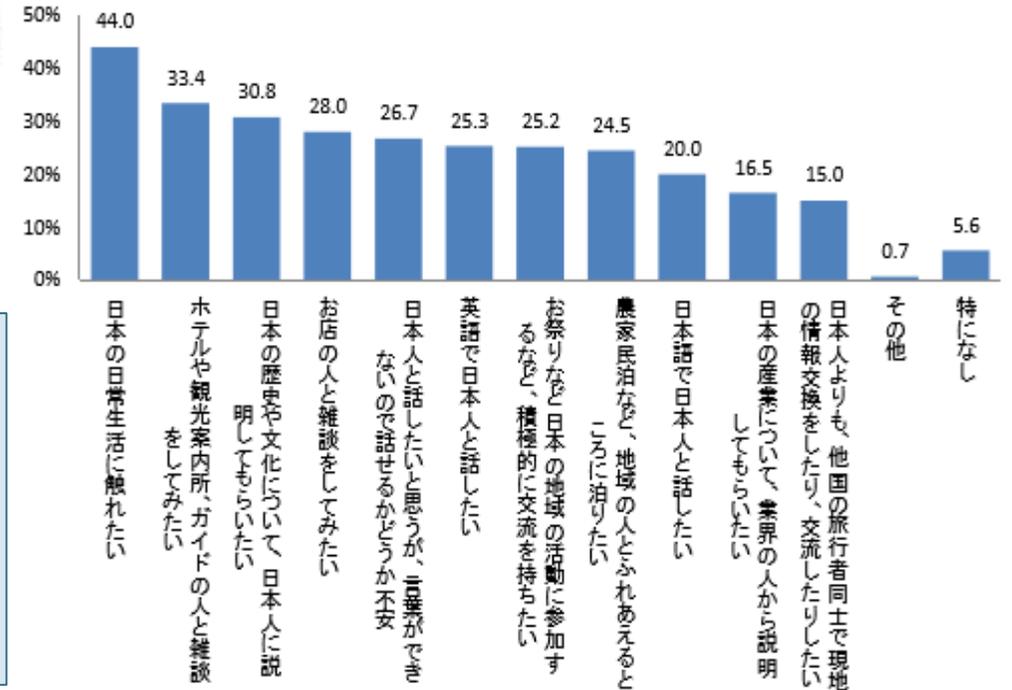


6割以上が話しかけられたら応じる。3割以上が積極的に話しかけると回答。

1年以内に日本への観光旅行を希望する中国人に関する調査

JTB(2016)

日本人との交流について



観光客は、地元の人々との交流機会を待っている

# 旅行ニーズの変化

Before



パッケージツアーで、次々とバス等で有名観光地を効率よく巡って楽しむ物見遊山的な旅行形態。

ファーストツアーリズム

After



個々の価値観やニーズに応じた、テーマ性が強く、ゆっくり楽しむ参加・体験型旅行形態。

スローツーリズム

島民との協力のもと、スローツーリズムで  
周防大島を元気に！

例えば

# スロートゥーリズムIN周防大島

## 宿泊と体験プログラムについて

- ・ 滞在中の宿泊はホテルの他、コテージやキャンプ場を利用。
- ・ 海岸清掃、スポーツイベントや産直市場で島民と交流。
- ・ 季節や天候によってさまざまな体験プログラムを提供。

ハンググライダー、山登り、伝統工芸、フラダンス、  
農作物収穫、温泉、料理、歴史、日本アワサング  
観察エコツアー、マリンスポーツ等



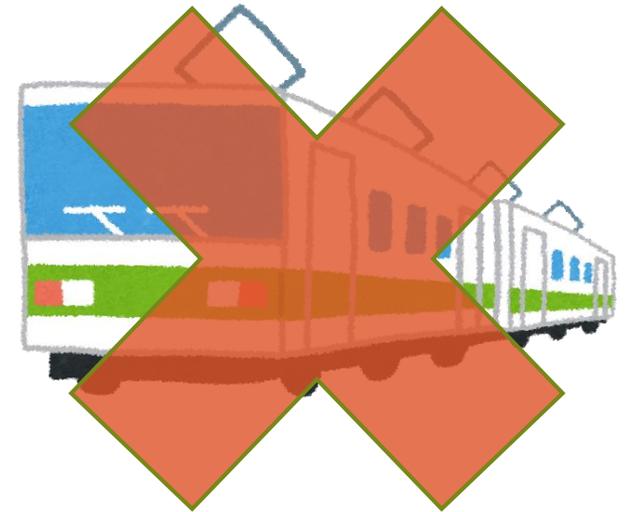
# 周防大島の観光における課題①

## 周防土居バス停の時刻表

周防土居		平成22年2月4日改正
時刻	行先	
9:31		
12:07		
14:49		
16:34		
17:54		
☆ 19:29		

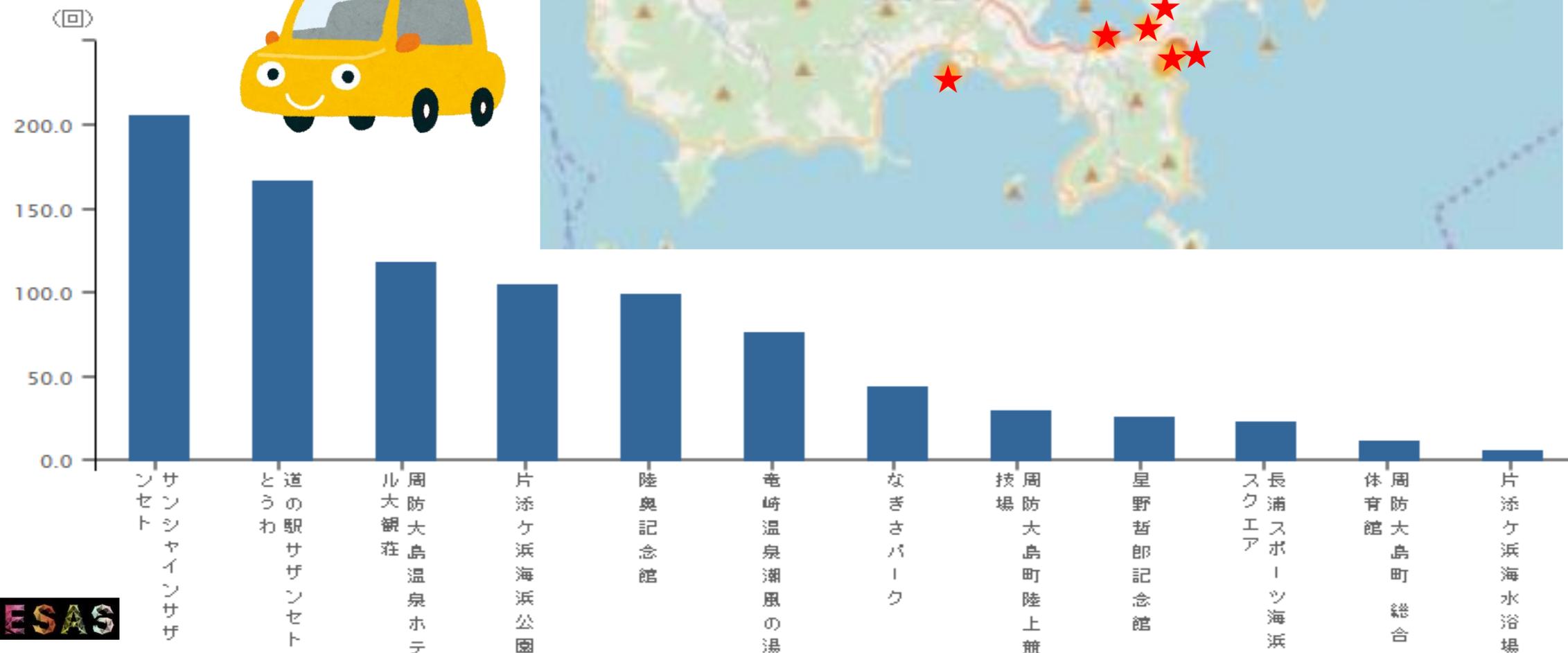
行先・経由等お間違えのないよう  
交通事情等で延着する場合がありますのでご了承ください。  
☆印: 12/29～1/3の間運休

**1日6便  
のみ!**



**島内の観光客の移動手段がほとんどない!**

# 周防大島町目的地分析 【2015年休日自動車】



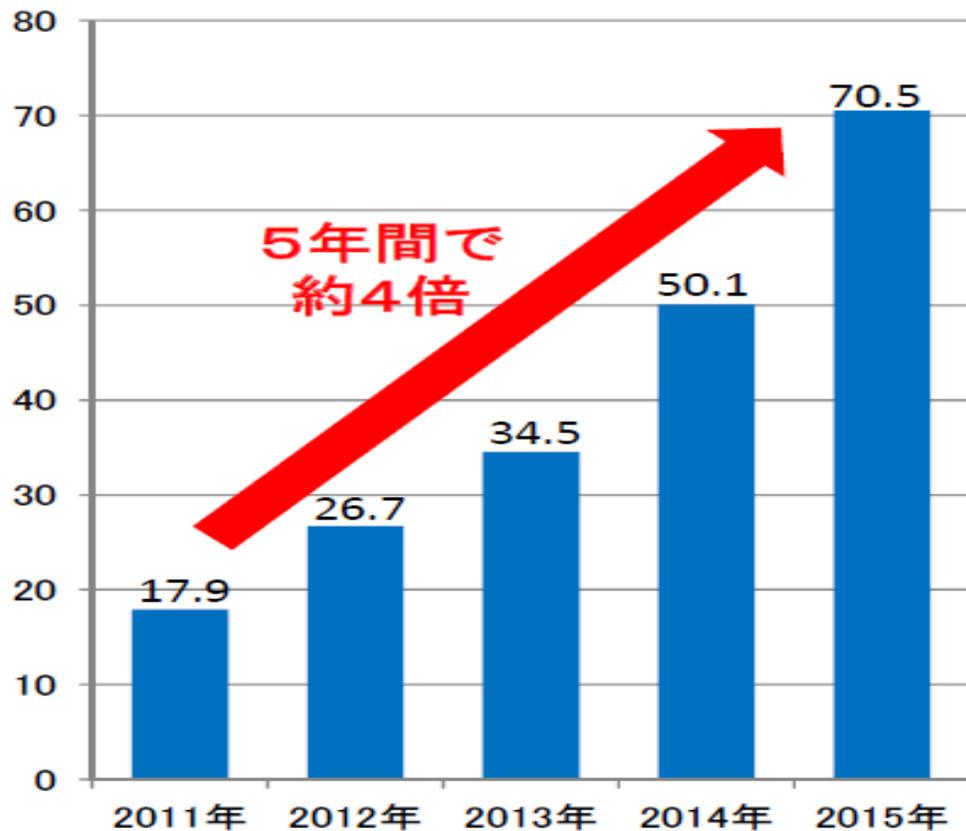
# 周防大島の観光における課題②



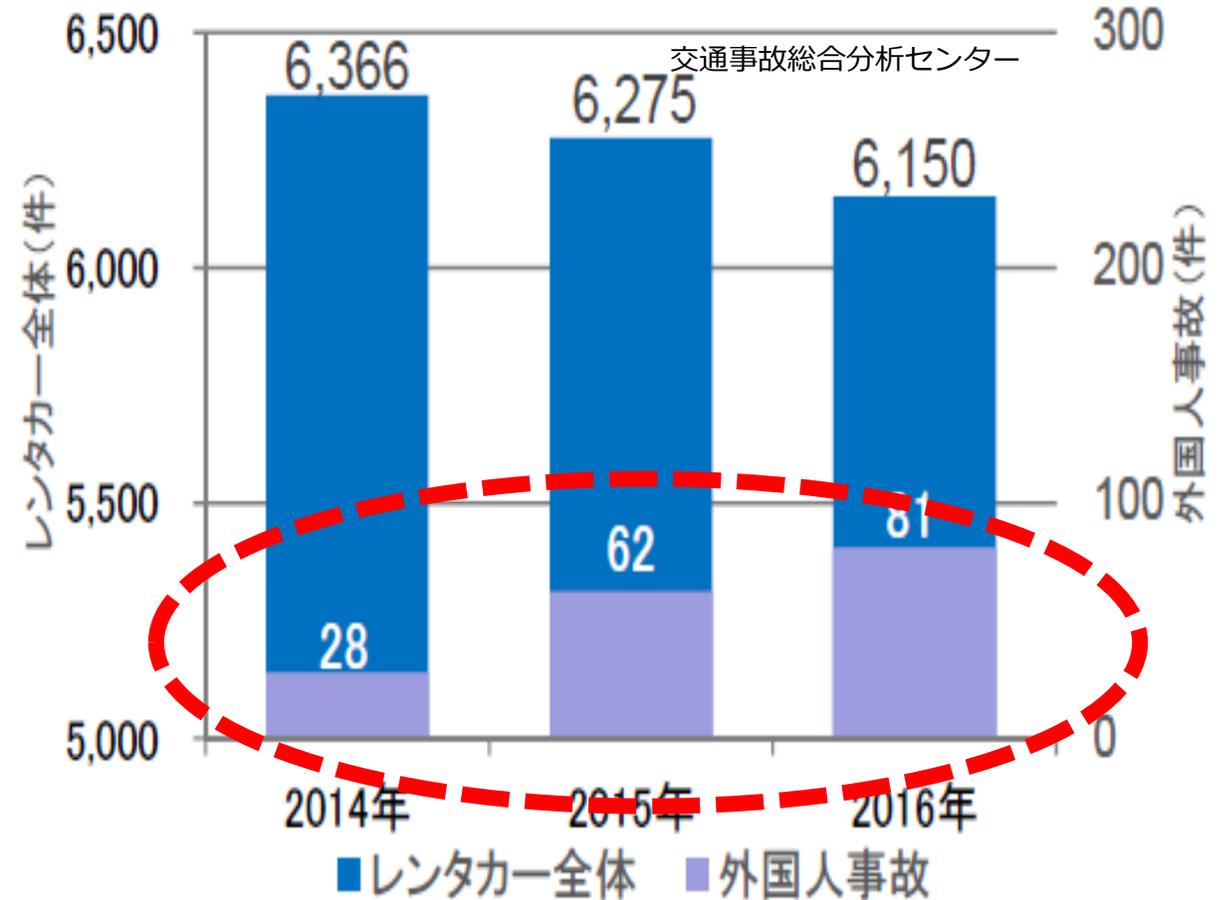
レンタカーを利用した訪日外国人の推移

(万人)

航空局「国際航空旅客動態調査」



レンタカーの死傷事故件数の推移(全国)



# 島内の移動にヒッチハイクを導入

いつでも

どこでも

手軽に



## 周防大島ヒッチハイク特区

コミュニケーション

ボランティア

島民全員で観光客をおもてなし

観光客の島内移動を安く安全・簡単に！

# ヒッチハイク特区について①

①利用を希望する観光客は入島時に申請し、  
利用料とデポジットを支払う。

## <利用料の使い道>

システム運営費、保険料、島民への協力費など。  
※デポジットは何の問題もなければ離島時に全額返却される。



②専用の行き先表示板と、ヒッチハイクチケットを受け取る。



## <ヒッチハイクチケットについて>

6枚綴りがセットになっているもの。  
ヒッチハイクをした際に、1回につき1枚をドライバーに手渡す。  
追加で購入することもできる。

# ヒッチハイク特区について②

## ③利用する時は行き先を書いて、道路脇に立つ。

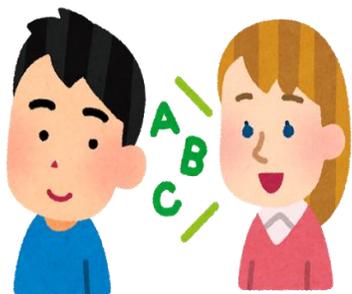


### <注意事項>

ヒッチハイクができるのは許可された観光客のみ。  
ヒッチハイクで移動できるのは島内のみ。  
現金の授受はいかなる場合も禁止。  
ルール違反が発覚した場合は、デポジットを没収。



## ④通りかかった島民が車を止めてくれたら乗車できる。



### <注意事項>

行き先がマッチしていれば乗車可能。  
島民が困るようなしつこい交渉はNG。  
車内では穴場の観光地やおいしいお店情報など、  
積極的に島民とコミュニケーションを取ろう！



# ヒッチハイク特区について③

## ⑤ 目的地に着いたら、島民ドライバーにチケットを渡す。

### <注意事項>

チケットは乗車距離に関係なく、1回の利用につき1枚をドライバーに渡す。紛失しても再発行はできない。



## ⑥ 島民ドライバーはチケットを毎月末にまとめて町に提出する。



### <注意事項>

町の審査を経て、地域通貨（将来的に仮想通貨）に交換される。

※チケットの譲渡・転売は禁止



# こんなこともあるかも…

①車内で意気投合し、島民のみ知る穴場情報を教えてもらう。



②ヒッチハイクに2度乗せた縁から、家に招待される。



③島民との交流が心地よく、リピーターとして何度も訪れる。



④周防大島が気に入り、周防大島に移住してくる。



**観光交流人口だけでなく、定住人口も増加する。**

# 地元高校生も協力します

## ①島民向けに英会話クラスを開催します。

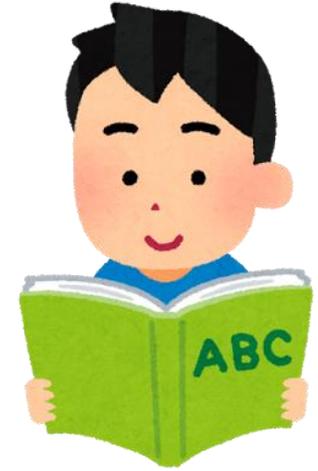
高校生が講師として英会話を教えます！

## ②ヒッチハイク特区のお手伝いをします。

チケットや行き先表示板のデザインを手がけます！

## ③地元のイベントを盛り上げます。

駅伝大会等では観光客とともに汗を流します。



**高校生も若い力で周防大島を  
ますます盛り上げます。**

# ヒッチハイク特区を導入することで

体験型観光客の増加

島民との交流・出会い

周防大島の魅力の増大

観光交流人口・定住人口増加で  
周防大島が元気になる！